

## 第 135 回シンポジウム

# 「アルミニウム産業における GHG 排出量削減取組みの最前線」

気候変動に関する政府間パネル（ICPP）の第 6 次評価報告書（2021 年）では、過去 5 年間の気温は 1850 年以降、もっとも高かったことが報告されました。またその後、2023 年の世界平均気温は観測史上最高を更新しています。日常生活を通して実感できてしまうほどの急速な地球温暖化の原因は、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガス（GHG）排出量の増大であるとされ、その排出量の大幅な削減の実現が喫緊の課題となっています。アルミニウム産業においても、この課題は無関係ではなく、ボーキサイト採掘・アルミナ製造・アルミニウム製錬・展伸材/鋳物材製造・使用済み製品リサイクルという一連のマテリアルフローの各所において GHG 排出量削減の取組みが、鋭意進められています。アルミニウム産業が今後とも発展し続けるためには、この一連のマテリアルフロー全体での GHG 排出量を、地球温暖化に影響しないレベルにまで極限的に下げていく必要があります。そのためには、これまでの個別の取組みでは限界があると予想され、アルミニウム産業に携わる研究者や技術者などが、マテリアルフロー全体についての理解を深めて、相互に協力することが必要と考えられます。そこで本シンポジウムでは、国内外のアルミニウム産業におけるマテリアルフローの各所からキーパーソンを講師としてお招きして、GHG 排出量削減の取組みの最新状況を中心に講演いただきます。同じアルミニウムのマテリアルフローに属しながらも日頃なじみの薄い分野を中心に、最新の取組み状況についての知見を深めていただき、今後のさらなる GHG 排出量削減の実現のための一助としてお役立ていただきたく、多数のご参加をお願いします。

**主 催：** 一般社団法人軽金属学会

**協 賛：** 日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、資源・素材学会、自動車技術会、日本ダイカスト協会、日本溶接協会、溶接学会、粉体粉末冶金協会、日本顕微鏡学会、表面技術協会、日本チタン学会(依頼中)

**日 時：** 2025 年 2 月 26 日（水） 13:00～16:25

**会 場：** 貸教室・貸会議室 内海 3F 教室（〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-6-15 東京学院ビル）

**交 通：** JR 水道橋駅西口徒歩 1 分

※受講者の参加状況によって会場変更の場合もあります。最新情報は随時、HP 等でご案内します。

**開催方式：** ハイブリッド開催（Zoom 利用）

※講演者、受講者の参加状況によって、開催方法の変更の場合もあります。最新情報は随時、HP 等でご案内します。

**参加費：** 正会員 10,000 円 維持・協賛学協会員 15,000 円 学生会員 1,000 円 非会員 20,000 円 学生非会員 2,000 円

**定 員：** 100 名

**申 込 先：** 軽金属学会ホームページ (<http://www.jilm.or.jp/>) 「イベント」 - 「開催予定のイベント」よりお申込みください。

**問 合 先：** 一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226）

プログラム（敬称略）：

13:00～13:05	開会の挨拶，シンポジウム全体説明	企画委員会委員長
13:05～13:55	<b>1. リオティントのサステナビリティへの取組みとサプライチェーンを通じた協業</b> ボーキサイト→アルミナ→アルミ地金という上流における脱炭素化を中心に，リサイクル強化も含めたサステナビリティ全般への取組みと，サプライチェーンを通じた協業に向けた取組みについての現況を紹介する。	リオティント ジャパン株式会社 相 雄一郎
13:55～14:45	<b>2. グリーンアルミのサプライチェーンと需給情勢</b> アルミニウム産業における GHG 排出の現状と，その削減オプションについて説明する。加えて，各国における削減に向けた取り組み状況について概説する。	住友商事株式会社 早川 一樹
14:45～15:00	休 憩	
15:00～15:50	<b>3. Hydro 社のアルミニウムリサイクルにおける脱炭素への取組み</b> アルミリサイクル，またそれに伴う製品開発の考え方，重要性を含めアルミ産業の中下流を中心に，脱炭素へ向けた取り組みを紹介する。	Hydro Aluminium Asia Pte Ltd 齊藤 健
15:50～16:20	<b>4. 国内外におけるアルミニウム鋳物材リサイクルの取組み</b> 自動車用の鋳物材を中心に，国内外におけるアルミニウム合金のリサイクルの現状と今後の取組みを紹介する。また，EV 化（軽量化）に伴う課題についても述べる。	株式会社ホンダ トレーディング 松下 智一
16:20～16:25	閉会の挨拶	柴柳 敏哉 (世話人)

(世話人：富山大学 柴柳 敏哉，富山大学 李 昇原，株式会社本田技術研究所 渡邊 博之，株式会社 UACJ 一谷 幸司，株式会社神戸製鋼所 木村申平)